



小田原市抛第 24 号

平成 26 年 8 月 31 日

小田原城普請会議 様
小田原の城と緑を考える会 様
小田原城郭研究会 様
小田原山盛の会 様
もりの恵み～あしがらの森で 様

小田原市長 加藤 憲



「小田原駅東口お城通り地区再開発事業による景観に関する公開質問」

について (回答)

平成 26 年 7 月 24 日付「小田原駅東口再開発事業による景観に関する公開質問」について、次のとおり回答します。なお、広域交流施設ゾーンに整備を予定しております施設については、建物の配置、規模等が白紙の状態であることから、駐車場施設ゾーンに絞って回答を作成しましたので御理解ください。

1 景観に対する取り組み

本市では、平成 2 年 12 月に「小田原市都市景観ガイドプラン」を、平成 5 年 3 月には「小田原市都市景観条例」を制定、さらに、平成 9 年度には、本市の取り組みが評価され「都市景観大賞 (三の丸周辺地区)」(旧建設省) を受賞、平成 17 年 2 月には、全国に先駆けて国の景観法 (平成 16 年 12 月 1 日施行) の規定による景観行政団体となるなど、景観形成を進める仕組みを構築し、全市域を対象とした建築物や工作物の景観誘導にいち早く取り組み、先進的な施策として評価されてきた経緯がある。

また、平成 17 年 12 月には、景観法に基づき、「小田原市景観計画」を策定するとともに、「小田原市景観条例」を制定 (平成 18 年 2 月 1 日施行) して現在に至っており、これら制度のもと、住む人にとっても訪れる人にとっても、さらに美しく快適で個性豊かな都市に育て、次代に引き継いでいくため、良好な景観形成の取り組みを

継続的に行っているところである。

これらの取り組みにより、景観評価員からは、小田原駅周辺の景観が相当改善され、小田原城が印象的に眺望できるようになったと評価されている。

2 眺望景観への配慮

中心市街地の多くの場所から小田原城天守閣を眺望できることが理想ではあるが、小田原駅前の商業地域と小田原城天守閣が近接しており、眺望が自ずと制限されてしまうことから、平成2年に策定した「小田原市都市景観ガイドプラン」の中で、小田原城天守閣への眺望景観の確保を図るための視点場を示した。

その後、平成17年度に策定された「小田原市景観計画」においては、市民及び市議会との度重なる議論のもと、本市中心市街地としての都市機能の充実を図りながら、新しい文化と歴史、伝統が調和した魅力ある景観の形成を図ることを目標として、小田原駅周辺地区を景観計画重点区域と定めたほか、来街者や市民にとって、小田原らしさが視覚的に感じられる小田原城天守閣の眺望を活かすため、国道1号と小田原駅前広場の視点場について、特に配慮すべきとの基本方針を示した。

以上のことから、小田原駅周辺地区に位置するお城通り地区再開発事業による駐車場施設の整備にあたっては、景観形成の基本方針に基づいた、小田原駅前広場のペDESTリアンデッキ上に定められた視点場はもちろんのこと、幅広い範囲で小田原城天守閣への眺望を考慮したうえで、駐車台数についても極力確保した設計となっている。

また、外観や色彩についても、条例で定める学識経験豊富な景観評価員から、駐車場施設が小田原城天守閣の手前に位置するため、小田原城と背景にある山並みの緑や周辺街区の建物について、調和や連続性に配慮すべきであるとの御意見をいただき、それらを参考に設計を行い、高い評価を得ている。

3 施設計画等の周知

眺望景観へ配慮した整備方針及び設計については、充実した収容能力と小田原城天守閣への眺望を確保する設計内容であることについて、平成22年11月に発表した

「小田原駅東口お城通り地区再開発事業基本構想」、平成25年8月に策定した「駐車場施設ゾーン整備基本計画」において定めているほか、平成25年9月に地元説明会、同年11月には事業説明会を、駅周辺15商店会及び3自治会を対象として3日間開催するとともに、同年12月に事業概要を全戸回覧、平成26年2月に小田原箱根商工会議所との意見交換会を開催するなど、各種説明会を開催して意見聴取等を行い、適時適切に広報誌やホームページにも情報を掲載している（「【別紙】経緯」のとおり）。また、市議会においても、基本構想や施設概要、予算など、事業推進にあたり、各段階において御説明してきたところである。

4 今後の取り組み

本市の市街地再開発事業については、全国的な少子高齢化に伴う人口の減少や人口密度の低下が避けられない昨今の状況から、低・未利用地の活用や都市機能の複合整備や、市街地の高度利用による活性化を促進し、定住人口の増加に繋げるべきとの意見も承知しているところであるが、今後とも、城下町にふさわしい景観と市街地再開発との両立及び調和に配慮し、事業を進めていく方針に何ら変わりはない。

【別 紙】

<経 緯>

平成 22 年 11 月 11 日 記者発表（こゆるぎ通信）及びホームページ掲載

- ・お城通り地区再開発事業「基本構想」

平成 23 年 6 月 9 日 意見交換会

- ・小田原箱根商工会議所商業部会まちづくり委員会との意見交換会

平成 24 年 9 月 7 日 記者発表（こゆるぎ通信）及びホームページ掲載

- ・お城通り地区再開発事業における「駐車場施設ゾーンの整備等に係る基本方針」

平成 25 年 3 月 1 日 広報誌掲載 広報小田原 3 月 1 日号

- ・お城通り地区再開発事業 進捗状況

平成 25 年 8 月 20 日 記者発表（こゆるぎ通信）及びホームページ掲載

- ・お城通り地区再開発事業「事業推進に係る基本方針」
- ・お城通り地区再開発事業「駐車場施設ゾーン整備基本計画」

平成 25 年 8 月 21 日 近隣学校法人への説明

- ・お城通り地区再開発事業の概要や埋蔵文化財発掘調査の概要などについて説明

平成 25 年 8 月 23 日 お城通り商店会長への説明

- ・お城通り地区再開発事業の概要や埋蔵文化財発掘調査の概要などについて説明

平成 25 年 9 月 13 日 地元説明会

お城通り地区再開発事業に係る説明会

- ・緑連合自治会住民を対象にお城通り地区再開発事業の概要や埋蔵文化財発掘調査の概要などについて説明会を開催

平成 25 年 9 月 15 日 おだわらいふ 9 月 15 日号、ホームページ掲載

- ・お城通り地区再開発事業 駐車場施設ゾーンの整備について

平成 25 年 10 月 26 日、11 月 16 日、30 日 市民対象のワークショップ

- ・（仮称）市民活動交流センターの設置について、意見交換を実施

平成 25 年 10 月 28 日 景観評価員意見聴取

- ・小田原城天守閣への眺望確保や駐車場の機能性確保は評価できる。敷地と歩道

に関しては、緑化の必要性と周辺に溶け込むデザインへの配慮について、意見を頂いた

平成 25 年 11 月 8 日、11 日、12 日 事業説明会

- ・お城通り地区再開発事業に関する事業説明会の開催（駅周辺 15 商店会及び 3 自治会対象、3 会場にて開催）

平成 25 年 11 月 8 日 景観評価員意見聴取

- ・小田原城天守閣への眺望確保のため、高さを抑えたことを評価された。北面のデザインについて、単調にならないよう色彩や凹凸による分節の採用を提案された

平成 25 年 12 月 6 日 全戸回覧の実施

- ・お城通り地区再開発事業の市内全戸回覧を実施（12 月 6 日広報委員長会議で回覧依頼）

平成 26 年 1 月 1 日 広報誌掲載 広報小田原 1 月 1 日号掲載

- ・駅周辺の機能配置について記事を掲載

平成 26 年 2 月 1 日 広報誌掲載 広報小田原 2 月 1 日号掲載

- ・小田原駅東口臨時駐車場の台数の減少及び駐車場施設概要の掲載

平成 26 年 2 月 4 日 景観評価員会議

- ・これまで頂いた意見を反映し、見直した外観の意匠及び色彩等について確認

平成 26 年 2 月 14 日 意見交換会の実施

- ・小田原箱根商工会議所商業部会まちづくり委員会において、「お城通り地区再開発事業」についての説明と意見交換会を実施

平成 26 年 5 月 30 日 景観評価員意見聴取

- ・鉄道側立面のデザイン変更について、変更後の内容を確認

平成 26 年 6 月 24、25、26 日、7 月 4、11 日 商店会長に個別訪問

- ・駐車場施設整備のスケジュールについて、駅周辺の 10 商店会長へ説明

平成 26 年 7 月 18 日 商店街連合会総会での説明

- ・駐車場施設整備のスケジュールについて、総会参加者に説明

<添付資料>

資料 1

小田原駅前広場（ペDESTリアンデッキ）から天守閣方面への眺望

資料 2

駐車場施設のイメージパースとペDESTリアンデッキより小田原城天守閣を望む予想図

資料 3

小田原城天守閣の見え方に関する検証

資料 4

駐車場施設建設前と建設後の眺望比較